

## 令和2年度平塚市イクボスプロジェクト実施報告及びアンケート回答結果について

### ◆実施概要

日時：令和2年11月13日（金）14時～16時

場所：平塚市勤労会館3階 大会議室

実施内容：

（テーマ）「イクボスで企業価値の向上を目指そう～ウィズ コロナ社会を生き抜くために～」

（講師）ウェルリンク株式会社 飛田 めぐみ 氏

（講演内容）第一部 講演「健康経営×イクボス～取組のその先にあるものとは～」

- ・働く環境の変化と新型コロナウイルスの影響
- ・健康経営とイクボスプロジェクトとは
- ・健康経営・イクボスへの取組を通して

第二部 事例発表「イクボスで企業価値の向上を目指そう」

- ・イクボス企業同盟 加盟企業の株式会社ルネサンスによる事例発表

### ◆参加状況

参加者数	19	
事業所	15	※12社
登録企業	9	※8社
協議会委員	3	
その他	1	

### ◆アンケート結果 (n=17)

※アンケート回答者 17人（事業所15人） 回答率89.5%

#### 1 どちらから御出席されましたか。

市内事業所	市外事業所	一般	その他	計
15	0	0	2	17
88%	0%	0%	12%	

その他 健康課職員、推進協議会委員

#### 2 (1) 第1部基調講演についてお伺いします。

参考になった	参考にならなかった	もっと詳しく聞きたかった	計
16	0	1	17
94%	0%	6%	

(2) 上記について、どの様な点が教えてください。

#### 【(1)で「参考になった」と回答した方】

- ・会社としても取組を行っている案件なので関心あり。
- ・健康に働くこと。
- ・イクボスへの取組について理解できた。
- ・社会や時代に合わせて会社も変化していかなければならないことはよく聞くのですが、人への教育についても併せて聞いてみたかったです。

- ・ 健康経営についてキーワードのみ知っていたので、よくわかりました。
- ・ 出来ることから始めること。
- ・ 理解が増した。
- ・ 浸透のための体制について。イクボスの取組は経営者のトップダウンにて推進。
- ・ イクボスや健康経営が企業の成長、従業員のモチベーション向上に効果があること。
- ・ 新しい価値観に気付かされました。
- ・ 様々再確認できました。
- ・ 健康経営の効果がわかった。ダメな企業の実例
- ・ イクボスの先、という不明確な部分が明確化された。イクボスが目的ではないということを再認識できた。

【(1) で「もっと詳しく聞きたかった」と回答した方】

- ・ 新型コロナ下での経営が表面的だった。もっと具体例が欲しかった。

3 (1) 第2部事例発表についてお伺いします。

参考になった	参考にならなかった	もっと詳しく聞きたかった	無回答	計
15	1	0	1	17
88%	6%	0%	6%	

(2) 上記について、どの様な点が教えてください。

【(1) で「参考になった」と回答した方】

- ・ 他社の動きを知ることは大切と感じた。
- ・ 経営トップが実践していくことが大切だと思った。
- ・ 企業のブランディングや社員満足につながっている話を聞いて良かった。自社でも心掛けていきたいと思えます。
- ・ 進める上での苦労した点などを聞くことができました。
- ・ 健康ビジネスにつなげやすい業種でも5年かかって実感ありとのこと。
- ・ 実際の働き方が参考になった。
- ・ 管理職研修をし、なおかつ社長自らイクボス宣言を実施している点。健康経営宣言について。
- ・ 取組事例を毎年発表し、好事例を表彰することは参考になる。
- ・ 様々な会社の取組について
- ・ 具体的な事例(担当者の悩み、社員からの反応、社員に理解してもらうための工夫)
- ・ とても明るい方で聞いていて耳に入りやすかった。カロママルネカップ、気になりました。

【(1) で「参考にならなかった」と回答した方】

- ・ 記入なし

4 本市では、『男女がともに活躍できるまち』を目指し、事業所の皆様と一緒に「働きやすいまち」そして「働く人・働きたい人に選ばれるまち」にしていきたいと考えております。

(1) そのようなまちにしていくために、本市に期待すること・求めることはどのようなことですか。

- ・ 今回のような企画を増やすべき。
- ・ 事業所や働く人に対して全国的に見ても優遇される制度があること。
- ・ 自社でも結婚して子供が生まれた従業員が多くなってきているので、家族向けの施策をしてもらいたいです。
- ・ 率先垂範していただくのと同時に市内事業所が取り組める仕組みづくり。

- ・ インセンティブを幅広く。メリットとしてインセンティブ発注があるが一度も受注したことがない。
- ・ 時短の方を活用するためには企業は余剰人員を抱えるケースも出てくるかと思う。そこに対する補助金があると助かるのでは。
- ・ 企業への応援、助成等
- ・ 企業の紹介(取組内容)
- ・ 企業だけでなく、学校等でも周知して欲しい。

(2) 講演会等を開催する場合、どのようなテーマや内容であれば参加されたいと思いますか。

- ・ 企業のIT化AI推進をどのようにしていくのが良いかなど。
- ・ 講演会は疑問、極小企業とはかけ離れている。
- ・ 他社がどのようなことを実践しているのか好事例の話を聞きたい。
- ・ ストレスチェックの活かし方

(3) どのような開催方法が参加しやすいですか。

ア 対象

全事業所向け	業種別	事業所単位	無回答	計
6	5	0	6	17
35%	30%	0%	35%	

イ 方法

講演会 (現地参加形式)	講演会 (オンライン形式)	講演会(現地・オンライン併用形式)	20人程度の少人数のセミナー	事業所への講師派遣	事業者組合等と共催して、研修に位置付けた実施	無回答	計
6	1	5	0	1	2	2	17
35%	6%	29%	0%	6%	12%	12%	

6 本日の講演会で、『イクボス宣言をしてみよう』、『登録制度に参加してみよう』と思われましたか。

してみようと思う	まだ分からない	しないと思う	宣言済み／登録済み	無回答	計
0	5	0	8	4	17
0%	29%	0%	47%	24%	

差し支えなければ事業所名を御記入ください。

【「まだ分からない」と回答した事業所】

日産車体(株)／三興製鋼(株)